

# データサイエンス・AI 応用基礎 I

## 点検・評価資料

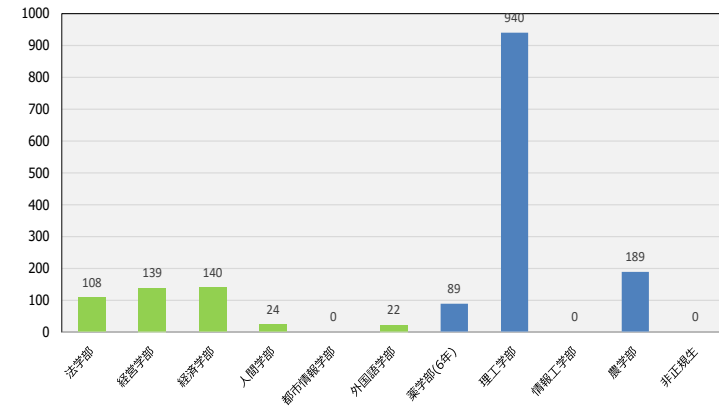
科目運営委員会資料（2026.04.24）



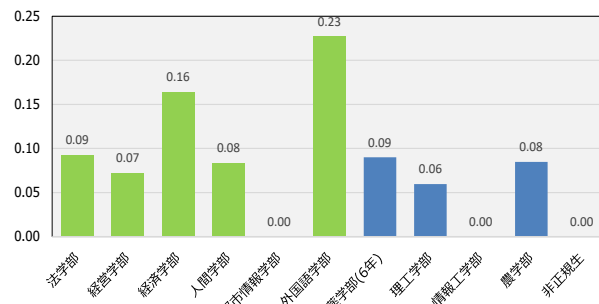
# 基本情報

| 受講者数（履修登録者数）：1651名 |             |     |     |     |     |     |     |     |     | 欠格：130名 |      |
|--------------------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|------|
| 学部                 | 学科          | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 5年次 | 6年次 | 学科計 | 学部計 | 欠格者数    | 欠格率  |
| 法学部                | 法学科         | 59  | 49  | 0   | 0   | —   | —   | 108 | 108 | 10      | 0.09 |
| 経営学部               | 経営学科        | 62  | 27  | 0   | 0   | —   | —   | 89  | 139 | 10      | 0.07 |
|                    | 国際経営学科      | 45  | 5   | 0   | 0   | —   | —   | 50  |     |         |      |
| 経済学部               | 経済学科        | 62  | 34  | 0   | 0   | —   | —   | 96  | 140 | 23      | 0.16 |
|                    | 産業社会学科      | 29  | 15  | 0   | 0   | —   | —   | 44  |     |         |      |
| 人間学部               | 人間学科        | 17  | 7   | 0   | 0   | —   | —   | 24  | 24  | 2       | 0.08 |
| 都市情報学部             | 都市情報学科      | 0   | 0   | 0   | 0   | —   | —   | 0   | 0   | 0       | —    |
| 外国語学部              | 国際英語学科      | 13  | 9   | 0   | 0   | —   | —   | 22  | 22  | 5       | 0.23 |
| 薬学部(6年)            | 薬学科         | 84  | 5   | 0   | 0   | 0   | 0   | 89  | 89  | 8       | 0.09 |
| 理工学部               | 数学科         | 93  | 13  | 0   | 0   | —   | —   | 106 | 940 | 56      | 0.06 |
|                    | 電気電子工学科     | 112 | 4   | 0   | 0   | —   | —   | 116 |     |         |      |
|                    | 応用化学科       | 43  | 12  | 0   | 0   | —   | —   | 55  |     |         |      |
|                    | 交通機械工学科     | 101 | 21  | 0   | 0   | —   | —   | 122 |     |         |      |
|                    | 機械工学科       | 104 | 5   | 0   | 0   | —   | —   | 109 |     |         |      |
|                    | 材料機能工学科     | 30  | 8   | 0   | 0   | —   | —   | 38  |     |         |      |
|                    | メカトロニクス工学科  | 89  | 9   | 0   | 0   | —   | —   | 98  |     |         |      |
|                    | 社会基盤デザイン工学科 | 91  | 7   | 0   | 0   | —   | —   | 98  |     |         |      |
|                    | 環境創造工学科     | 86  | 7   | 0   | 0   | —   | —   | 93  |     |         |      |
|                    | 建築学科        | 77  | 28  | 0   | 0   | —   | —   | 105 |     |         |      |
| 情報工学部              | 情報工学科       | 0   | 0   | 0   | 0   | —   | —   | 0   | 0   | 0       | —    |
| 農学部                | 生物資源学科      | 37  | 23  | 0   | 0   | —   | —   | 60  | 189 | 16      | 0.08 |
|                    | 応用生物化学科     | 41  | 20  | 0   | 0   | —   | —   | 61  |     |         |      |
|                    | 生物環境科学科     | 46  | 22  | 0   | 0   | —   | —   | 68  |     |         |      |
| 非正規生               |             |     |     |     |     |     | 0   | 0   | 0   | 0       | —    |

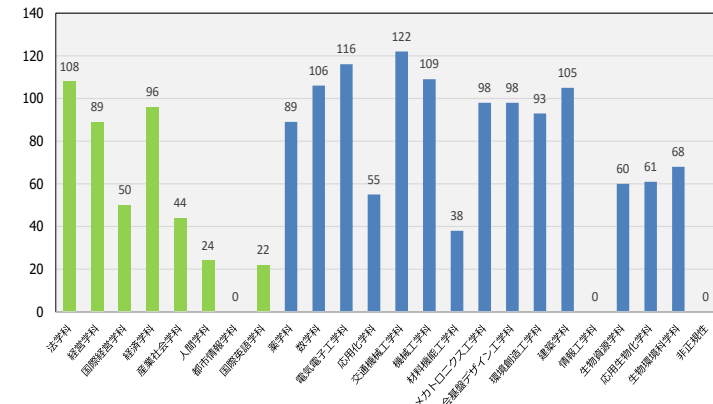
履修者数（学科別）



欠格率（学部別）

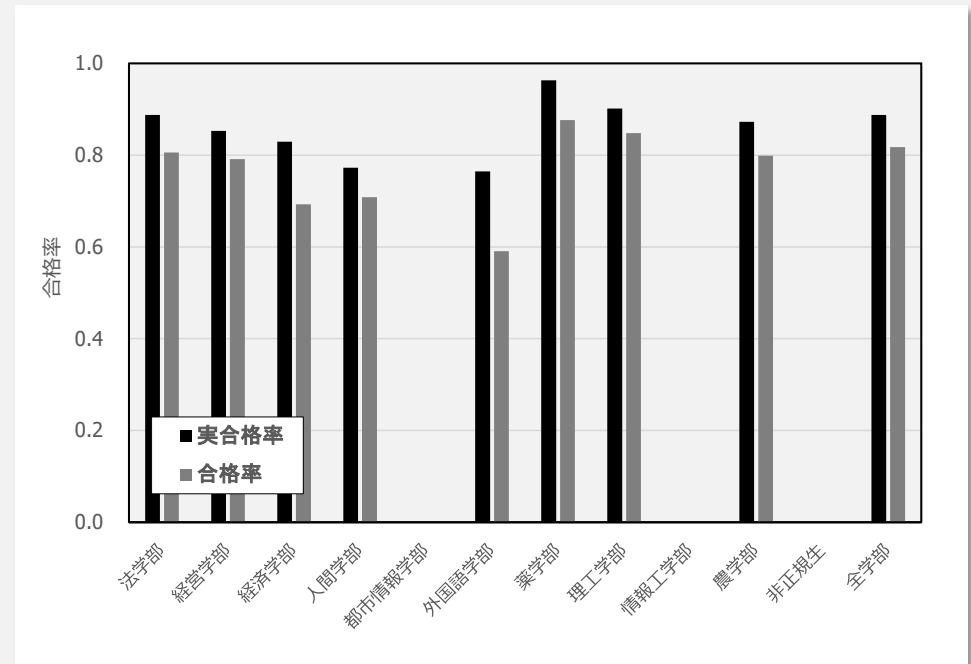


履修者数（学科別）



# 合格率（学部別）

| 最終評価（小テスト×0.4 + 定期試験×0.6） |      |      |      |      |      |
|---------------------------|------|------|------|------|------|
| 学部                        | 履修者数 | 欠格者数 | 合格者数 | 実合格率 | 合格率  |
| 法学部                       | 108  | 10   | 87   | 0.89 | 0.81 |
| 経営学部                      | 139  | 10   | 110  | 0.85 | 0.79 |
| 経済学部                      | 140  | 23   | 97   | 0.83 | 0.69 |
| 人間学部                      | 24   | 2    | 17   | 0.77 | 0.71 |
| 都市情報学部                    | 0    | 0    | 0    | —    | —    |
| 外国語学部                     | 22   | 5    | 13   | 0.76 | 0.59 |
| 薬学部                       | 89   | 8    | 78   | 0.96 | 0.88 |
| 理工学部                      | 940  | 56   | 797  | 0.90 | 0.85 |
| 情報工学部                     | 0    | 0    | 0    | —    | —    |
| 農学部                       | 189  | 16   | 151  | 0.87 | 0.80 |
| 非正規生                      | 0    | 0    | 0    | —    | —    |
| 全学部                       | 1651 | 130  | 1350 | 0.89 | 0.82 |



小テストおよび定期試験の得点詳細については、別添資料 1, 2 を参照のこと。

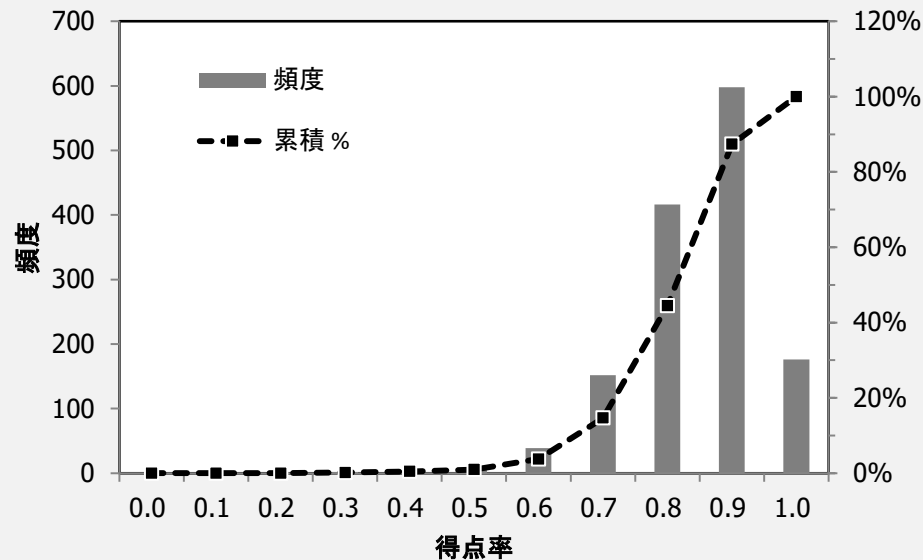


# 合格率（全学部）

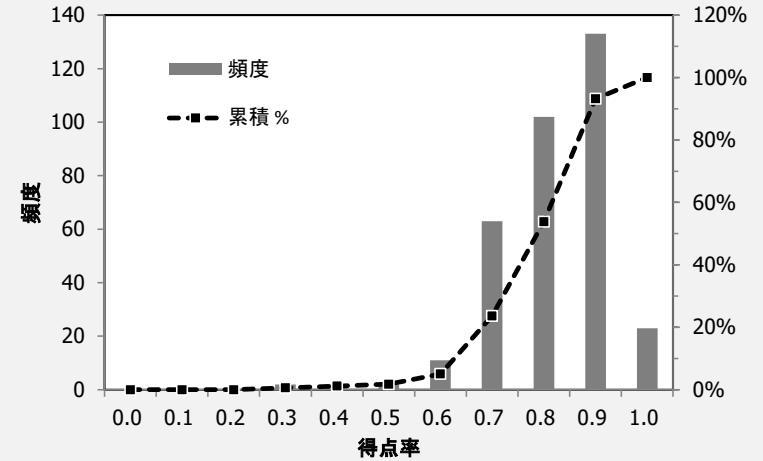
## 総合評価（小テスト×0.4+定期試験×0.6）

| 履修者数 | 欠格者数 | 合格者数 | 実合格率 | 合格率  |
|------|------|------|------|------|
| 1651 | 130  | 1350 | 0.89 | 0.82 |

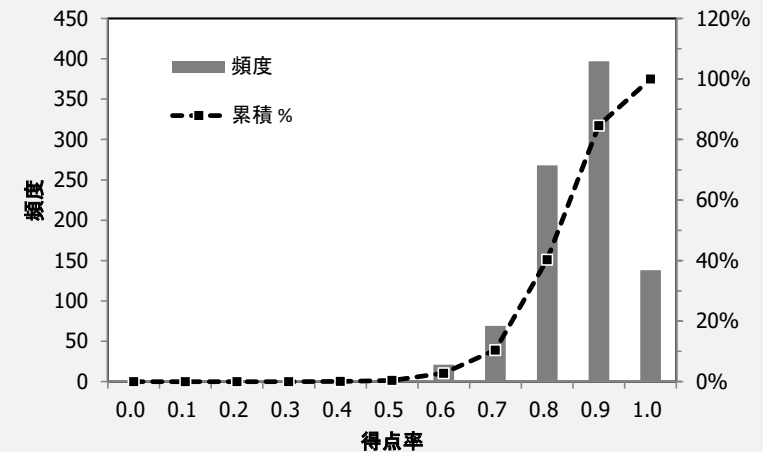
## 総合評価（全学部）



## 総合評価（文系学部）

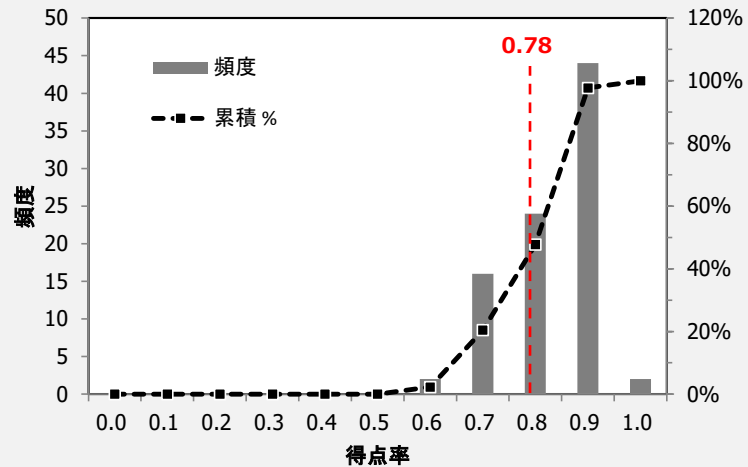


## 総合評価（理系学部）

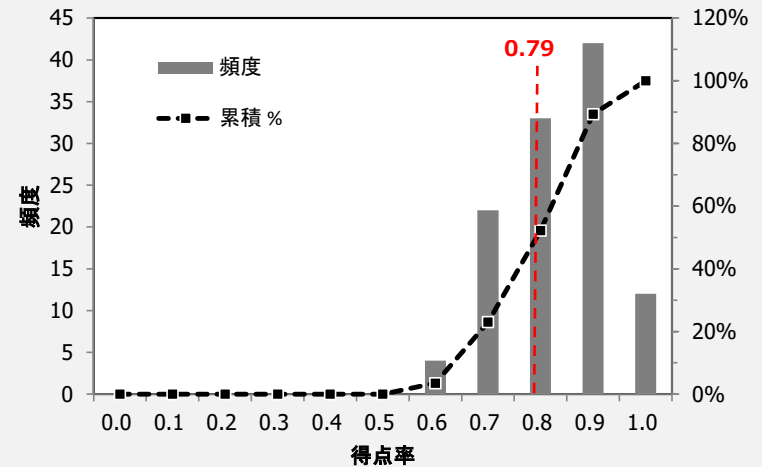


# 合格率（文系学部）

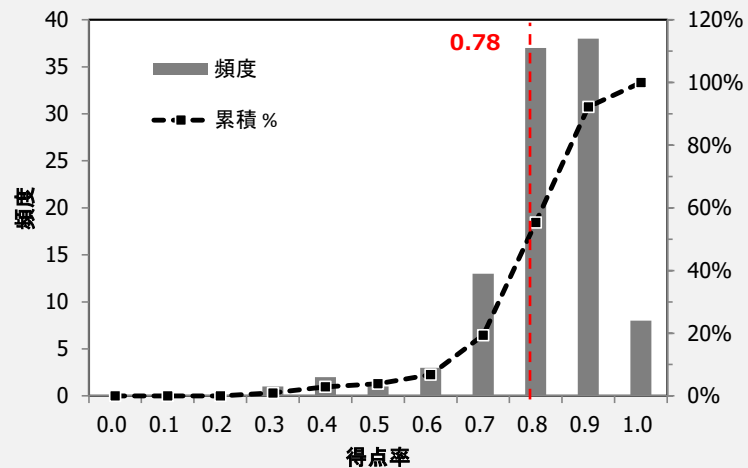
総合評価得点率（法学部）



総合評価得点率（経営学部）

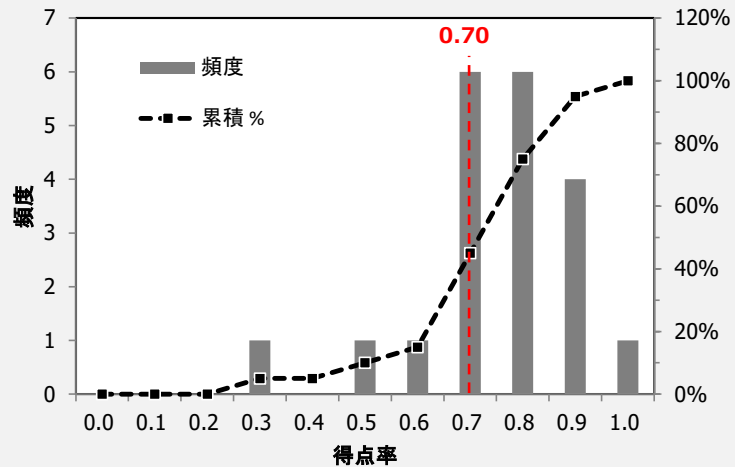


総合評価得点率（経済学部）

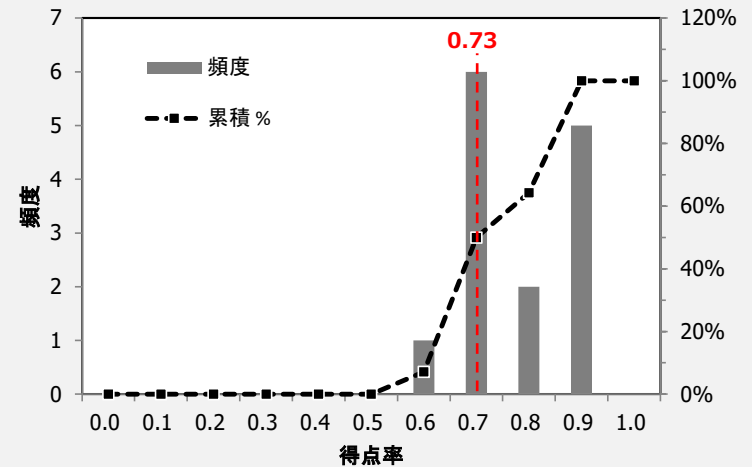


# 合格率（文系学部）

総合評価得点率（人間学部）

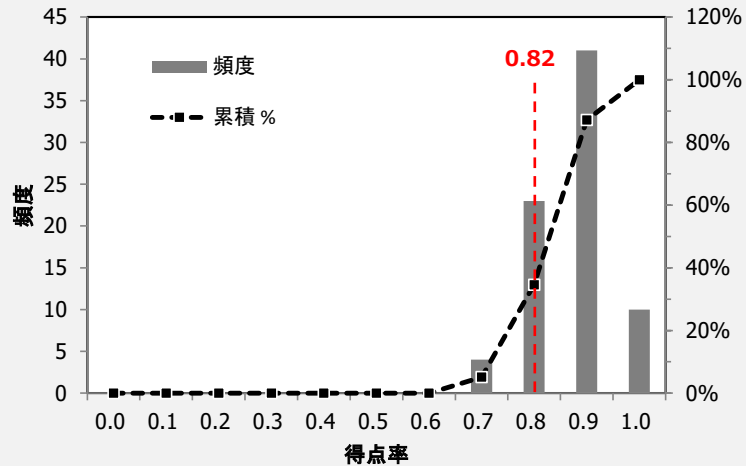


総合評価得点率（外国語学部）

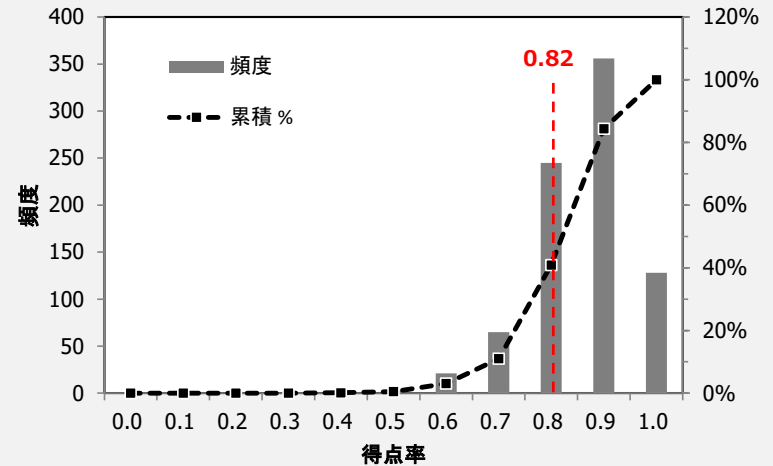


# 合格率（理系学部）

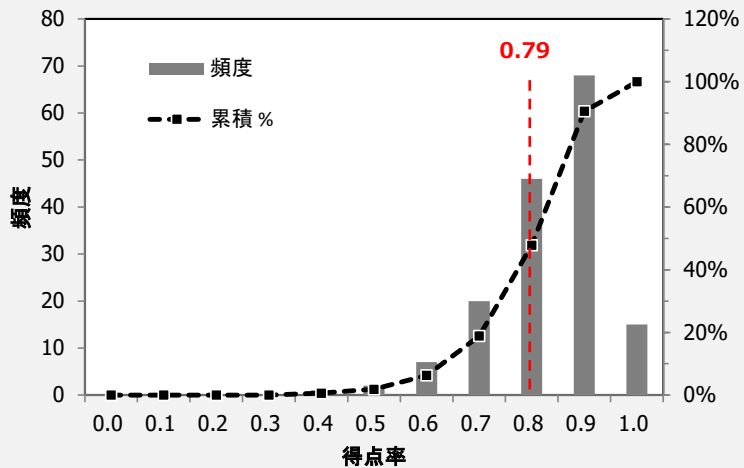
総合評価得点率（薬学部）



総合評価得点率（理工学部）

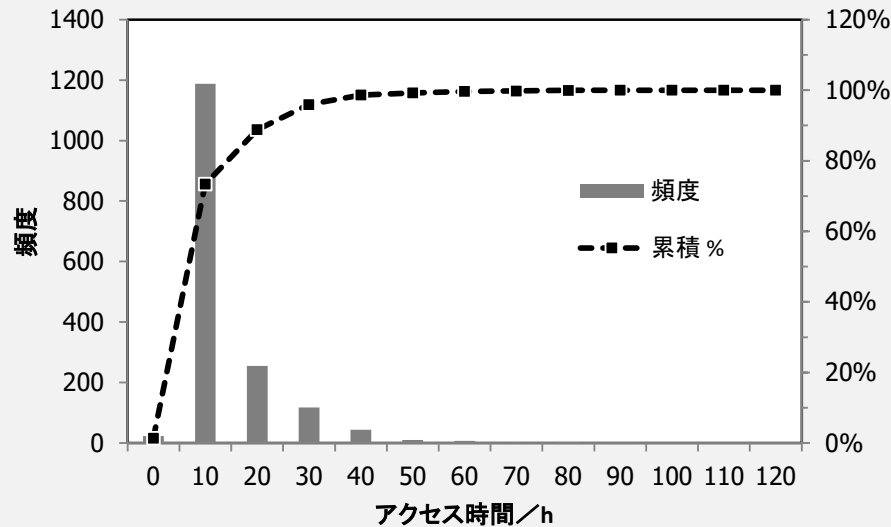


総合評価得点率（農学部）



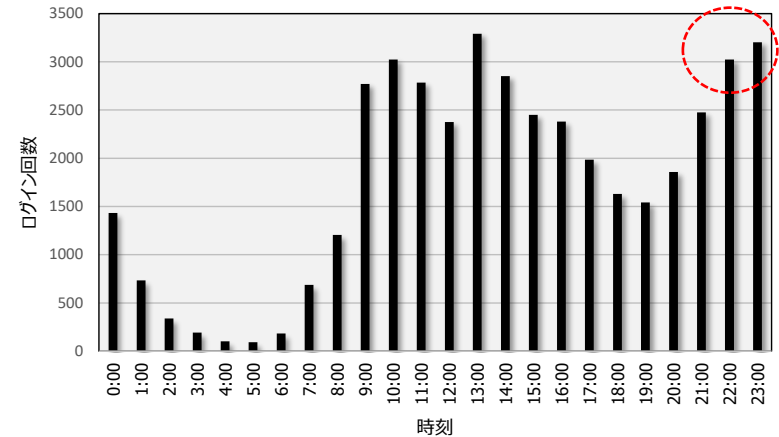
# 学習状況（学習時間）

学習時間（合計）

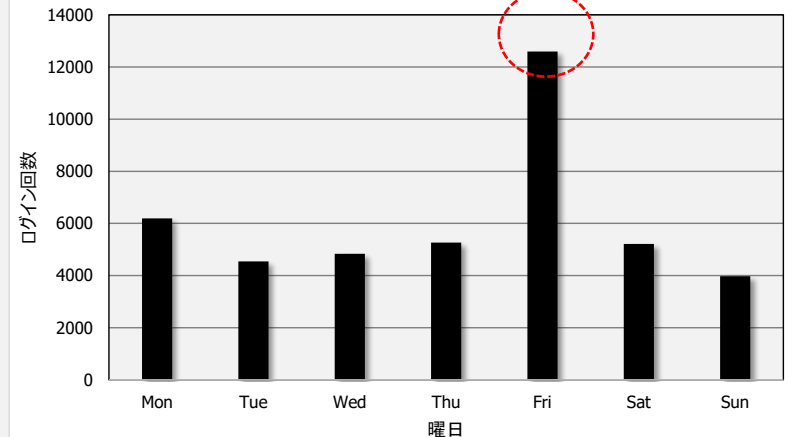


- ◆ 15 回の学習時間合計は、平均で僅か 8 時間程度。
- ◆ つまり、各回の平均学習時間は、1 時間未満。
- ◆ 金曜日：21～23 時のアクセスに集中しており、多くの学生が開講日の土曜日ではなく、締め切り間際の金曜日深夜に学習している。

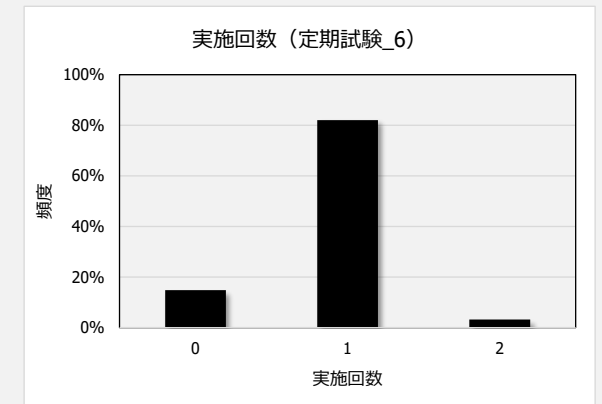
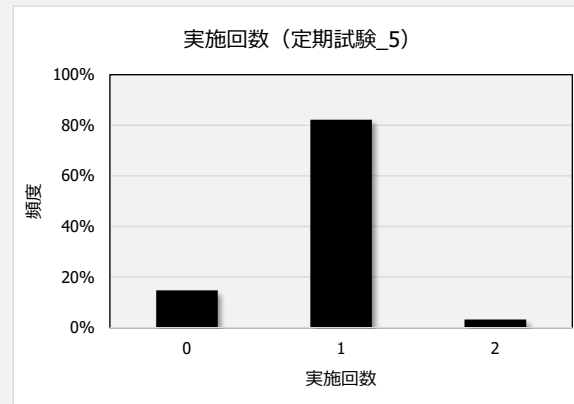
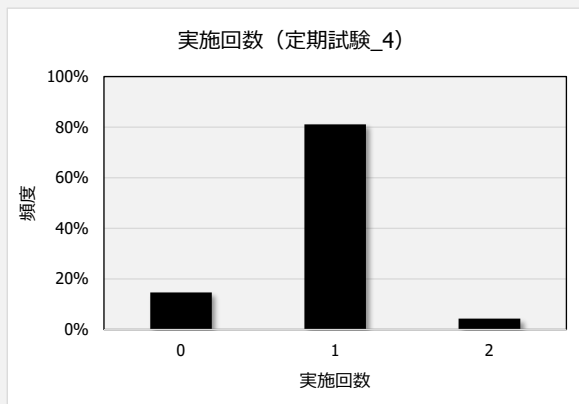
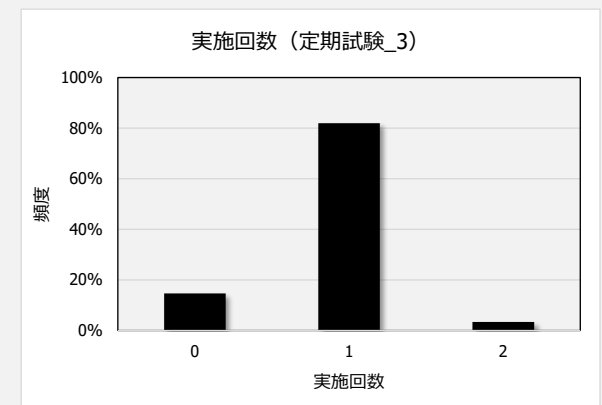
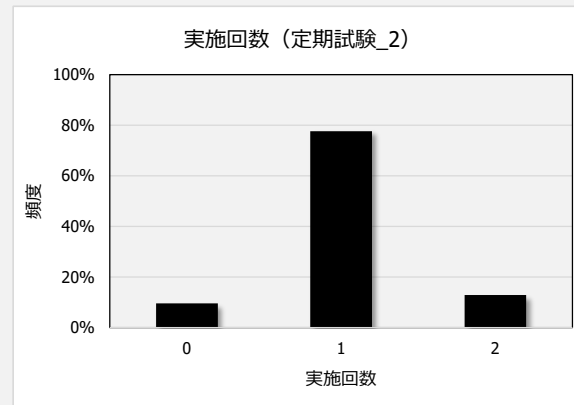
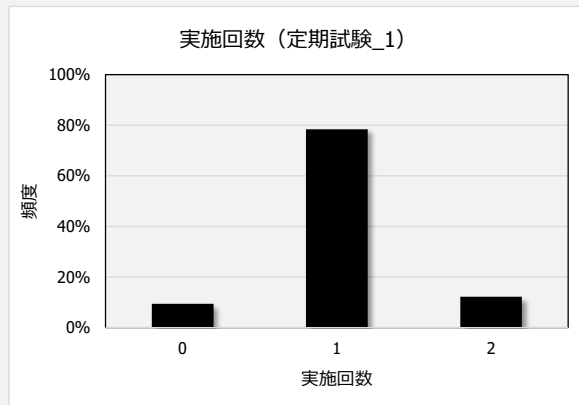
時間帯別ログイン数



ログイン回数



# 学習状況（定期試験の実施回数）



定期試験実施要項にて、原則、解答チャンスは1回である旨、念押ししたため、2回の実施は少なかった。

# 授業改善アンケート（回答率）

**回答率：62.5 %**

（15回目の講義にて、出席確認と併せて実施）

Q1 この授業を履修しようと思った理由は何ですか（複数回答可）＊

- ☐ データサイエンス・AIについて学んでみたかったから
- ☐ オンデマンド講義だったから
- ☐ 他学部の教員の授業を受けてみたかったから
- ☐ 科目で身につく学修成果が将来必要になる知識や技能であると思ったから
- ☐ その他: \_\_\_\_\_

Q2 この授業は、よく理解できましたか？＊

- ☐ よく理解できた
- ☐ 理解できた
- ☐ あまり理解できなかった
- ☐ 理解できなかった

Q3 講義ビデオ／講義資料に対して満足しましたか？＊

- ☐ 満足
- ☐ やや満足
- ☐ やや不満
- ☐ 不満

Q4 毎回の小テストの難易度はいかがでしたか？＊

- ☐ 難しすぎる
- ☐ 難しい
- ☐ 容易
- ☐ 容易すぎる

Q5 あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか（WebClassでの課題、授業に関わる読書（テキスト・参考文献以外も含む）、友人との議論なども含まれます）。

- ☐ 週3時間以上
- ☐ 週1時間以上・3時間未満
- ☐ 週30分以上・1時間未満
- ☐ 週30分未満
- ☐ していない

Q6 あなたは、この授業を受講して、シラバスに示されている「到達目標1：＊ データサイエンスやAIが注目されるようになった社会背景と、様々な分野での活用事例を理解し、説明できるようになる」を達成できましたか？

- ☐ 達成できた
- ☐ やや達成できた
- ☐ あまり達成できなかった
- ☐ 達成できなかった

Q7 あなたは、この授業を受講して、シラバスに示されている「到達目標2：＊ データサイエンスの基本的な分析手法を身に着け、データ解析の結果を分析目的に即して解釈できるようになる」を達成できましたか？

- ☐ 達成できた
- ☐ やや達成できた
- ☐ あまり達成できなかった
- ☐ 達成できなかった

Q8 この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか？

- ☐ 満足した
- ☐ やや満足した
- ☐ あまり満足しなかった
- ☐ 満足しなかった

Q9 あなたはこの授業の履修を他の学生にも奨めますか？＊

- ☐ 強く奨める
- ☐ 奨める
- ☐ あまり奨めない
- ☐ 奨めない

Q10 この授業の内容に関しての要望事項があれば具体的に教えてください（自由記述）

長文回答

Q11 講義ビデオ／資料に関しての要望事項があれば具体的に教えてください（自由記述）

長文回答

Q12 小テストに関しての要望事項があれば具体的に教えてください（自由記述）

長文回答

Q13 本講義の受講を振り返って、自己の反省点があれば具体的に教えてください（自由記述）

長文回答

Q14 本講義の受講を振り返って、もっと学びたかったと思う授業内容があれば具体的に教えてください（自由記述）

長文回答



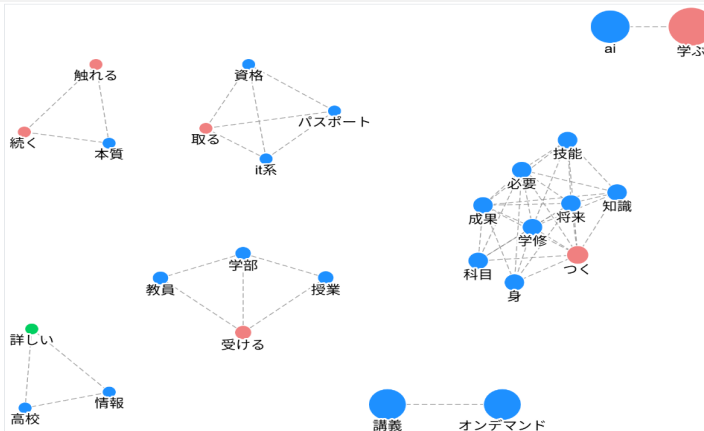
# 授業改善アンケート（Q1）

## Q1：この授業を履修しようと思った理由は何ですか？

**ワードクラウド：**スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさと色で図示しています。単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。



**共起キーワード：**文章中出现する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図です。出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度は強い方から順に 太い実線 > 細い実線 > 破線 で描画されます。



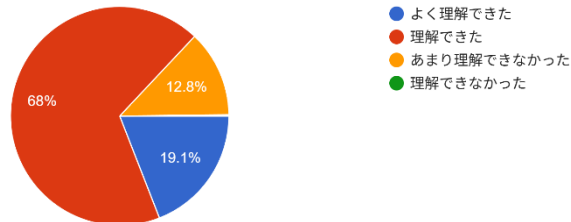
- 1. 学びたい分野  
「データサイエンス・AIについて学んでみたかったから」：データサイエンスとAIに対する興味を持っている。
- 2. 講義形式  
「オンデマンド講義だったから」：オンデマンド形式の講義が提供されているため、学習しやすい環境が整っている。
- 3. 将来の必要性  
「科目で身につく学修成果が将来必要になる知識や技能であると思ったから」：学んだ内容が将来のキャリアにおいて重要であると認識している。
- 4. 他学部の授業  
「他学部の教員の授業を受けてみたかったから」：異なる視点や専門知識を得るために他学部の授業を受けることに興味を持っている。
- 5. 資格取得の意欲  
「ITパスポートの資格を取り、IT系に興味があった」：IT 関連の資格取得を目指しており、IT分野への関心が高い。

以上のように、データサイエンスとAIに対する強い興味を持ち、将来に役立つ知識や技能を身につけるために、オンデマンド講義を利用して学ぶ意欲がある。

# 授業改善アンケート（Q2～Q4）

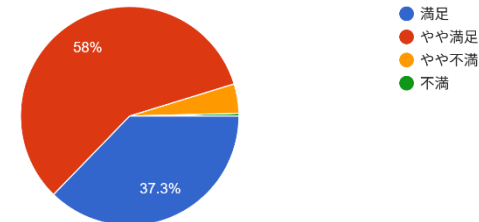
Q2 この授業は、よく理解できましたか？

1,033 件の回答



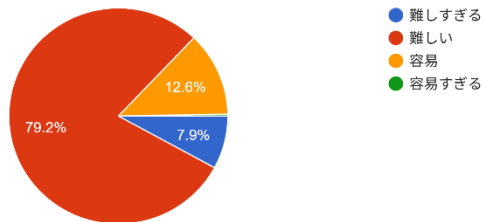
Q3 講義ビデオ／講義資料に対して満足しましたか？

1,033 件の回答



Q4 毎回の小テストの難易度はいかがでしたか？

1,033 件の回答



**Q2：授業の理解度「理解できた」は、81.8 %  
(昨年度より、+3.6 %)**

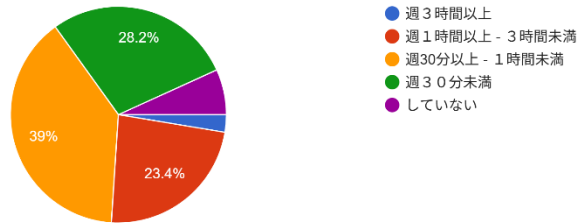
**Q3：講義資料の満足度は、95.3 %  
(昨年度より、+4.5 %)**

**Q4：87.1 %の学生が難しいという感想  
(昨年度より、-7.1 %)**

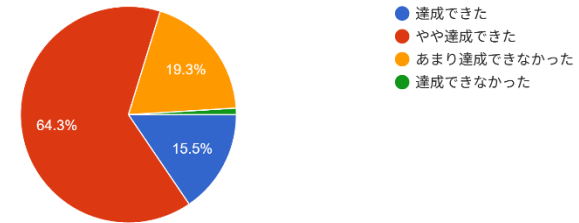
- 「理解度」「資料の満足度」とともに、昨年度よりも大幅UP！
- 87 %が「難しい」との感想であるが、同時に「理解度」「満足度」が高いことから、自学自習による努力が伺える。

# 授業改善アンケート（Q5～Q7）

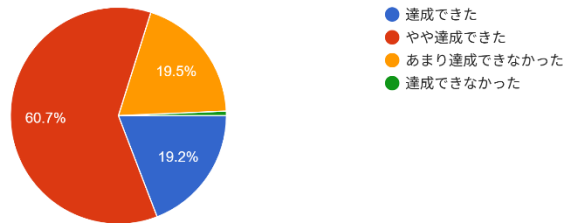
Q5 あなたは、この授業のために1週間あたり授...以外も含む)、友人との議論なども含まれます)。  
1,033 件の回答



Q6 あなたは、この授業を受講して、シラバスに..., 説明できるようになる」を達成できましたか？  
1,033 件の回答



Q7 あなたは、この授業を受講して、シラバスに...て解釈できるようになる」を達成できましたか？  
1,033 件の回答



**Q5：授業外での学習時間は、約7割が1時間程度、約3割の学生は殆ど行っていない。**

**Q6：到達目標1の達成度は、79.8% (75.3%)**

(データサイエンスやAIが注目されるようになった社会背景と、様々な分野での活用事例を理解し、説明できるようになる。)

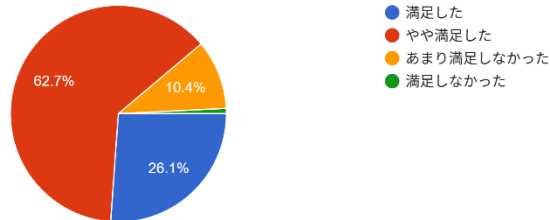
**Q7：到達目標2の達成度は、79.9% (76.9%)**

(データサイエンスの基本的な分析手法を身に付け、データ解析の結果を分析目的に即して解釈できるようになる。)

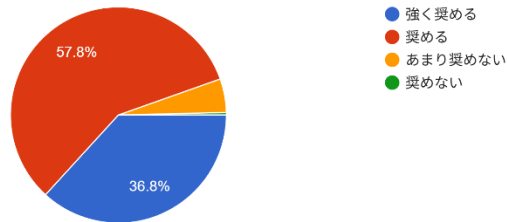
- 自習課題には、ほとんどの学生が取り組んでいない
- 到達目標の達成度は共に高いことから、学んだつもりになっている？

# 授業改善アンケート（Q8～Q9）

Q8 この授業の進め方・内容や、あなた自身のこ...この授業について、全体として満足しましたか？  
1,033 件の回答



Q9 あなたはこの授業の履修を他の学生にも奨めますか？  
1,033 件の回答



**Q8**：授業満足度は、88.8 %  
(昨年度より、+1.6 %)

**Q9**：本科目の重要性の認知は、94.6 %  
(昨年度より、+4.0 %)

授業満足度、科目の重要性認知に関しては、データサイエンス・AI 入門を上回った。

- 授業満足度、科目の重要性認知に関しては、「データサイエンス・AI入門」を上回った。
- 社会におけるデータサイエンス・AI スキルの重要性が、学生の間でも浸透してきている模様



**Q11：講義ビデオ／資料に関しての要望事項があれば具体的に教えてください**

- 「丁寧な解説でとても分かりやすい講義ビデオが沢山ありました」や「わかりやすかったです」といったポジティブなフィードバックも多く、全体的には授業の質に対する満足度が高いことが伺える。



Q13：本講義の受講を振り返って、自己の反省点があれば具体的に教えてください

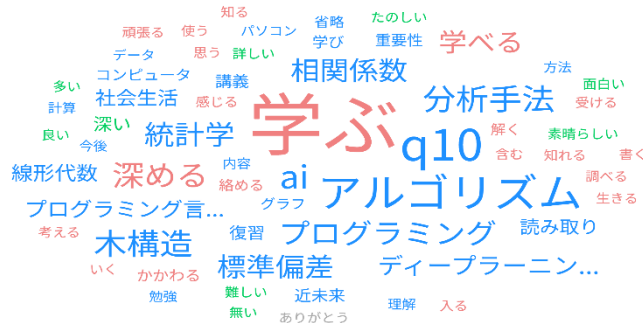
わかりやすい  
うまい 欲しい  
わかる 感じる 難しい  
できる 少ない  
興味深い ギリギリ 学習 学ぶ 分野 多い  
面白  
むずかしい 提出 反省 課題 近い いい 内容 進む 後半  
深い 勉強 統計 テスト 講義 単元 活用 余裕 忙しい  
っぽい 受ける 動画 理解 高校  
解ける 理解度 復習 問題  
早く  
オンデマンド 取り組む  
受講 しまう 部分 忘れる 解く 思う かかる  
興味 長い 詳しい 増やす 期限 数学 後回し 計算 授業 すごい  
楽しい いける 方法 実施 よい 持つ いく  
分かる 見る

- 

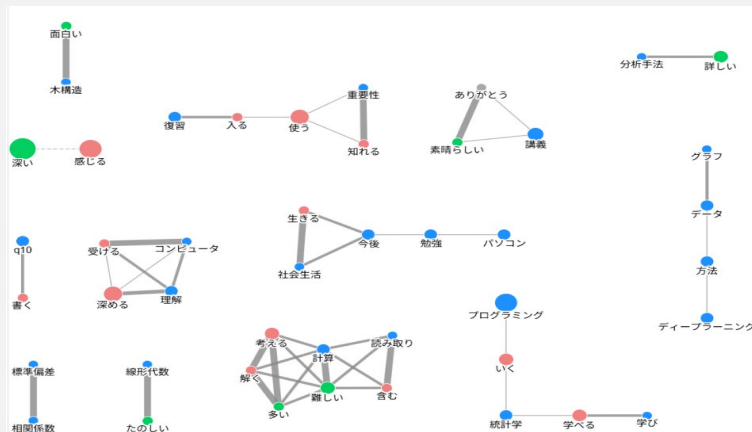
# 授業改善アンケート（Q14）

## Q14：本講義を振り返って、もっと学びたかったと思う授業内容があれば具体的に教えてください

**ワードクラウド：**スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさに図示しています。単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。



**共起キーワード：**文章中出现する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図です。出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度は強い方から順に 太い実線 > 細い実線 > 破線で描画されます。



### ■ 1. アルゴリズムとAIの学び

「アルゴリズムは今後の社会生活で生きてきそうなので、もう少し学んでみたかった」、「AIと人間のかかわり方をもっと深く学びたかったと感じています」など、本講義の意義の高さを感じている。

### ■ 2. プログラミングの深化

「プログラミングについて、より複雑になったプログラミングも学んでみたい」、「プログラミングのところをもう少しやりたかった」など、未経験者の興味の高さが伺える。→ **応用基礎Ⅱで実践が体験出来る。**

### ■ 3. 統計学への興味

「統計学についてもっと深く学びたいと思った。特に標準偏差や相関係数などを学びたい」、「統計学に興味があり、この講義でしか学べないので、もう少し学びたかった」など、統計学の重要性の認識が伺える。

### ■ 4. ディープラーニングと数学的背景

「序盤にやったディープラーニングについてもう少し深く学びたいと感じた」、「数学的な背景をもっと知れたかった」など、最新のAI動向への興味が伺える。

### ■ 5. 実践的な応用と復習の重要性

「実際の職場でどんなふうに使われているか知れると、より重要性が感じられると思いました」

**全体として、AI、アルゴリズム、プログラミング、統計学、ディープラーニングなどのトピックに対する興味を示し、より深く学ぶことを望んでいることが伺える。**

# 昨年度からの改善点・課題

## ・教材の改善

- 改善：各科目担当の先生方に可能な範囲で改善努力をいただいた。
- 課題：詳細解説，例題の増加等の要望が依然ある。
- 引き続き改善が必要。

## ・小テストの詳細解説

- 改善：可能な限り，解説を追加戴いた。
- 課題：アンケートでは，依然，要望が多い。教科書からの参照説明要望もあり。
- 引き続き改善が必要。

## ・補助教材の強化

- 改善：解析ツールに慣れていない学生に向けて，初回の講義にチュートリアルを追加
- 課題：数学，統計解析に関する補助教材の強化。

## ・オンライン定期試験の不正行為対応

- 改善：当日のPC教室の見廻り等業務の業務負担。
- 課題：引き続き検討していく必要あり。

# 来年度に向けての改善目標

---

## ・教材の改善

- 社会背景および技術の進化に伴う内容の更新.
- 資料の見易さ, 聞き取りやすさに関する改善要望が依然あるため, 更なる改善を実施する.

## ・小テスト模範解答

- 更なる, 詳細な解説を望む声が多い. (「講義資料の p.xx を参照せよ」など)

## ・補助教材の強化

- 講義で必要となる基礎知識に関するチュートリアル, 参考書の紹介.

## ・オンライン定期試験の不正行為対応

- 当日の PC 教室の見廻り業務

## ・今後の運営・実施体制

- 取り纏め専任担当の採用, ノルマ等, 科目運営に関する体制整備が急務.

# データサイエンス・A I 応用基礎Ⅱ

## 点検・評価資料

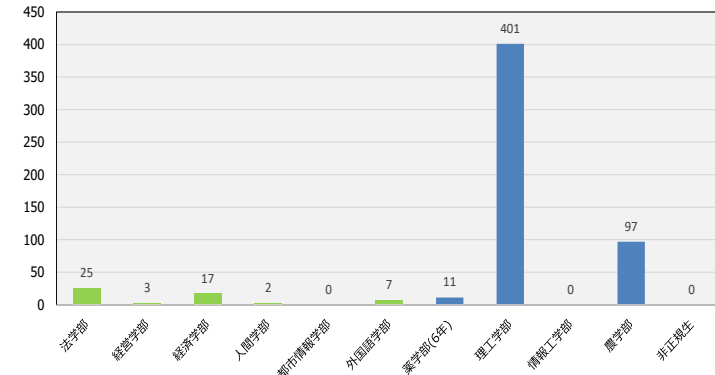
科目運営委員会資料（2026.04.24）



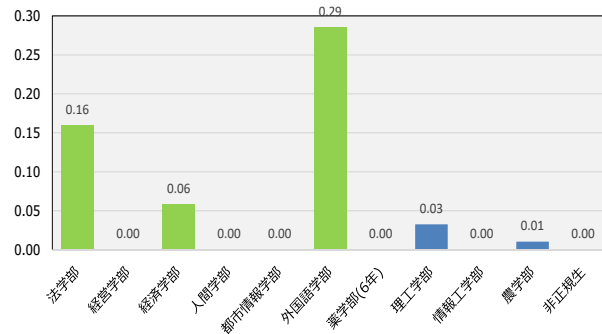
# 基本情報

| 受講者数（履修登録者数）：563名 |             |     |     |     |     |     |     |     |     | 欠格：21名 |      |
|-------------------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--------|------|
| 学部                | 学科          | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | 5年次 | 6年次 | 学科計 | 学部計 | 欠格者数   | 欠格率  |
| 法学部               | 法学科         | 0   | 25  | 0   | 0   | —   | —   | 25  | 25  | 4      | 0.16 |
| 経営学部              | 経営学科        | 0   | 3   | 0   | 0   | —   | —   | 3   | 3   | 0      | 0.00 |
|                   | 国際経営学科      | 0   | 0   | 0   | 0   | —   | —   | 0   |     |        |      |
| 経済学部              | 経済学科        | 0   | 8   | 0   | 0   | —   | —   | 8   | 17  | 1      | 0.06 |
|                   | 産業社会学科      | 0   | 9   | 0   | 0   | —   | —   | 9   |     |        |      |
| 人間学部              | 人間学科        | 0   | 2   | 0   | 0   | —   | —   | 2   | 2   | 0      | 0.00 |
| 都市情報学部            | 都市情報学科      | 0   | 0   | 0   | 0   | —   | —   | 0   | 0   | 0      | —    |
| 外国語学部             | 国際英語学科      | 0   | 7   | 0   | 0   | —   | —   | 7   | 7   | 2      | 0.29 |
| 薬学部(6年)           | 薬学科         | 0   | 11  | 0   | 0   | 0   | 0   | 11  | 11  | 0      | 0.00 |
| 理工学部              | 数学科         | 0   | 32  | 0   | 0   | —   | —   | 32  | 401 | 13     | 0.03 |
|                   | 電気電子工学科     | 0   | 16  | 0   | 0   | —   | —   | 16  |     |        |      |
|                   | 応用化学科       | 0   | 1   | 0   | 0   | —   | —   | 1   |     |        |      |
|                   | 交通機械工学科     | 0   | 90  | 0   | 0   | —   | —   | 90  |     |        |      |
|                   | 機械工学科       | 0   | 41  | 0   | 0   | —   | —   | 41  |     |        |      |
|                   | 材料機能工学科     | 0   | 20  | 0   | 0   | —   | —   | 20  |     |        |      |
|                   | メカトロニクス工学科  | 0   | 40  | 0   | 0   | —   | —   | 40  |     |        |      |
|                   | 社会基盤デザイン工学科 | 0   | 65  | 0   | 0   | —   | —   | 65  |     |        |      |
|                   | 環境創造工学科     | 0   | 49  | 0   | 0   | —   | —   | 49  |     |        |      |
|                   | 建築学科        | 0   | 47  | 0   | 0   | —   | —   | 47  |     |        |      |
| 情報工学部             | 情報工学科       | 0   | 0   | 0   | 0   | —   | —   | 0   | 0   | 0      | —    |
| 農学部               | 生物資源学科      | 0   | 38  | 0   | 0   | —   | —   | 38  | 97  | 1      | 0.01 |
|                   | 応用生物化学科     | 0   | 38  | 0   | 0   | —   | —   | 38  |     |        |      |
|                   | 生物環境科学科     | 0   | 21  | 0   | 0   | —   | —   | 21  |     |        |      |
| 非正規生              |             |     |     |     |     |     |     | 0   | 0   | 0      | —    |

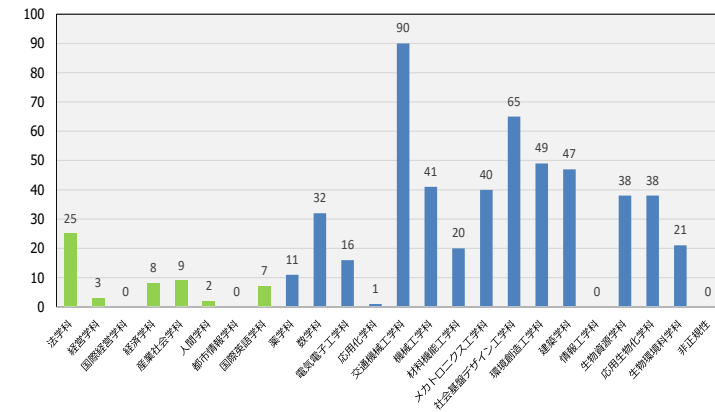
履修者数（学科別）



欠格率（学部別）

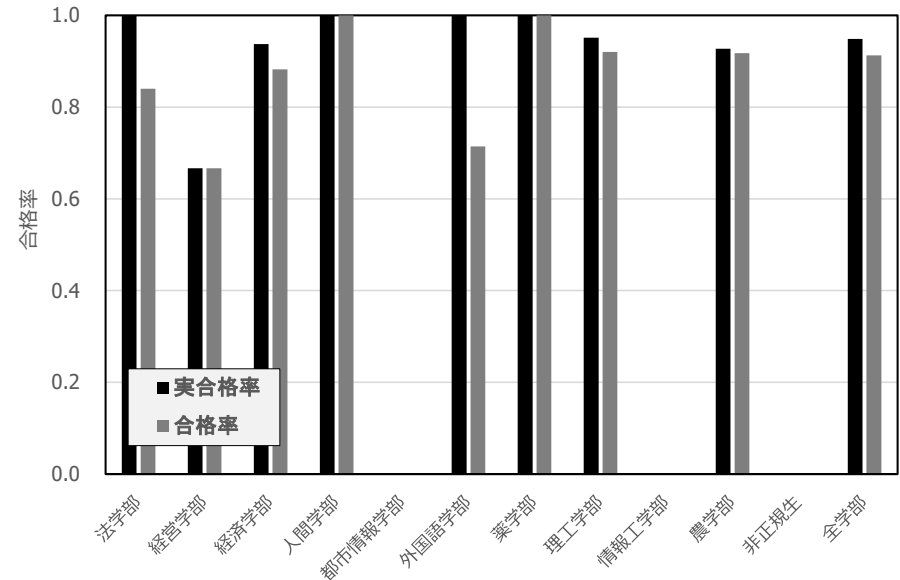


履修者数（学科別）



# 合格率（学部別）

| 最終評価（小テスト×0.4 + 定期試験×0.6） |      |      |      |      |      |
|---------------------------|------|------|------|------|------|
| 学部                        | 履修者数 | 欠格者数 | 合格者数 | 実合格率 | 合格率  |
| 法学部                       | 25   | 4    | 21   | 1.00 | 0.84 |
| 経営学部                      | 3    | 0    | 2    | 0.67 | 0.67 |
| 経済学部                      | 17   | 1    | 15   | 0.94 | 0.88 |
| 人間学部                      | 2    | 0    | 2    | 1.00 | 1.00 |
| 都市情報学部                    | 0    | 0    | 0    | —    | —    |
| 外国語学部                     | 7    | 2    | 5    | 1.00 | 0.71 |
| 薬学部                       | 11   | 0    | 11   | 1.00 | 1.00 |
| 理工学部                      | 401  | 13   | 369  | 0.95 | 0.92 |
| 情報工学部                     | 0    | 0    | 0    | —    | —    |
| 農学部                       | 97   | 1    | 89   | 0.93 | 0.92 |
| 非正規生                      | 0    | 0    | 0    | —    | —    |
| 全学部                       | 563  | 21   | 514  | 0.95 | 0.91 |



小テストおよび定期試験の得点詳細については、別添資料 1, 2 を参照のこと。

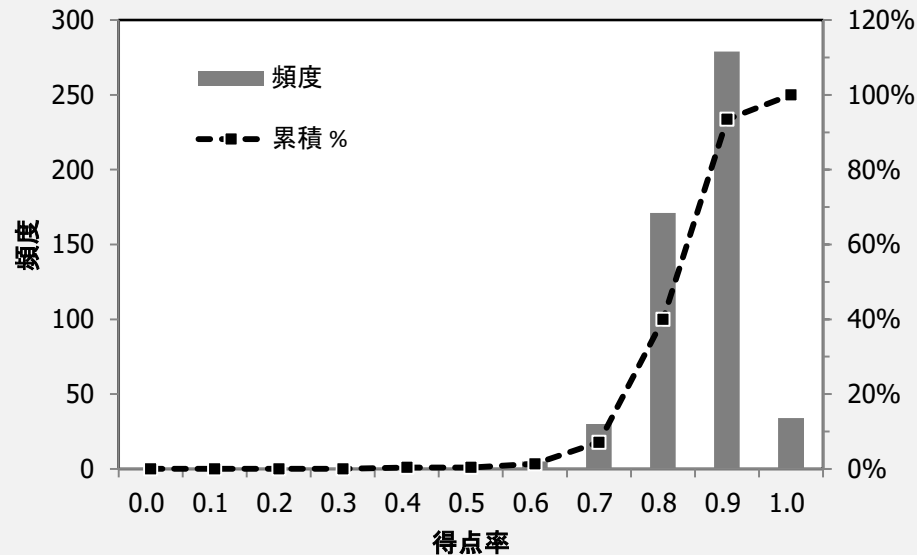


# 合格率（全学部）

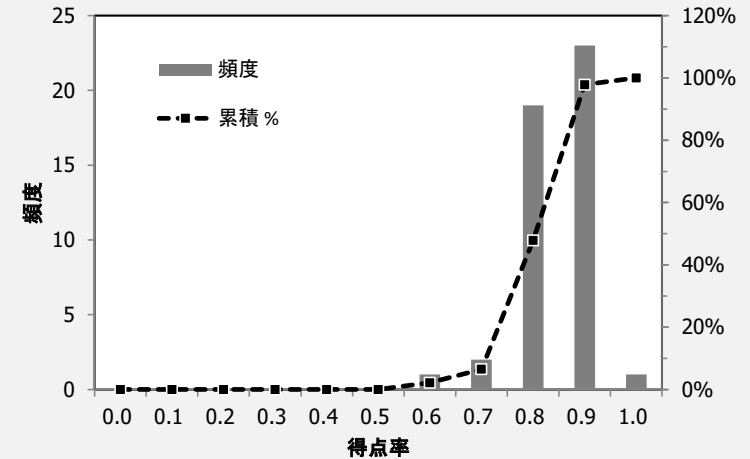
## 総合評価（小テスト×0.4+定期試験×0.6）

| 履修者数 | 欠格者数 | 合格者数 | 実合格率 | 合格率  |
|------|------|------|------|------|
| 563  | 21   | 514  | 0.95 | 0.91 |

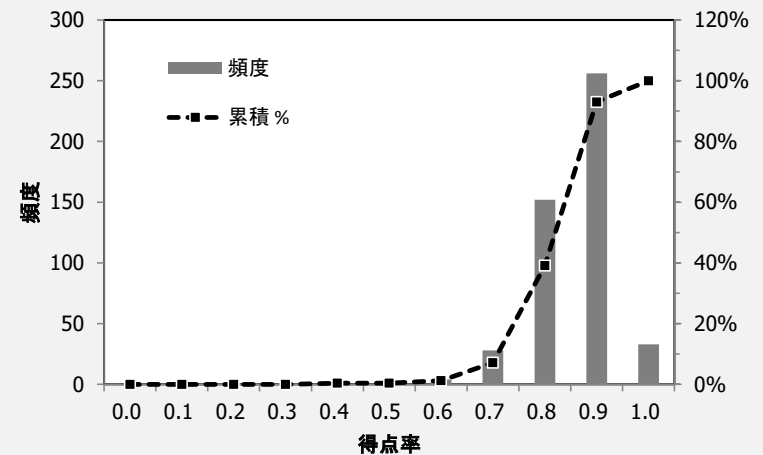
## 総合評価（全学部）



## 総合評価（文系学部）

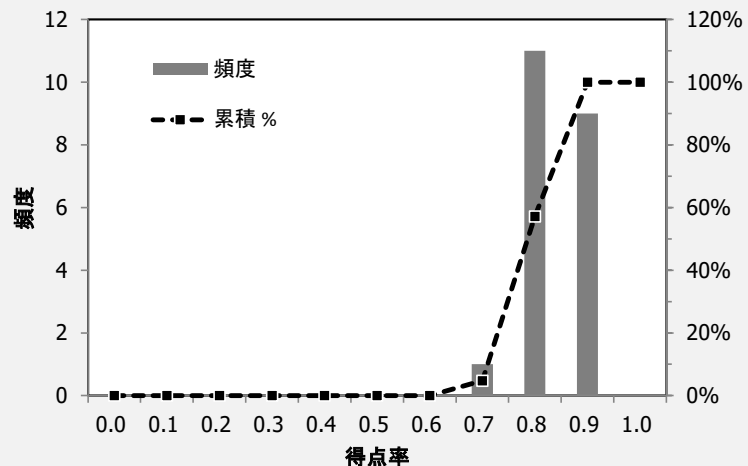


## 総合評価（理系学部）

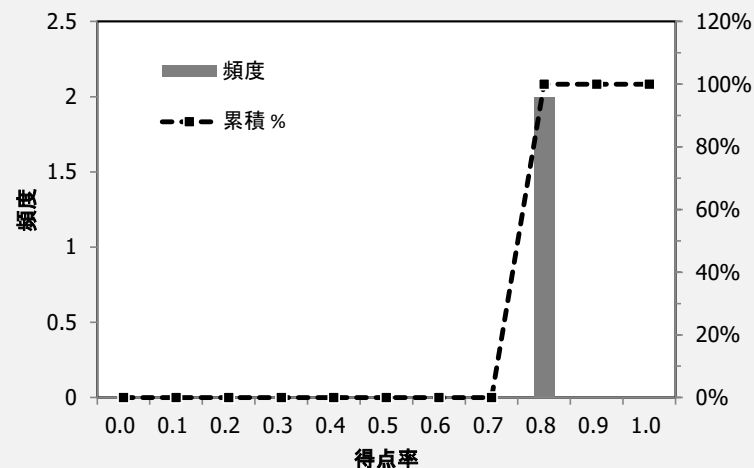


# 総合評価得点率（文系学部）

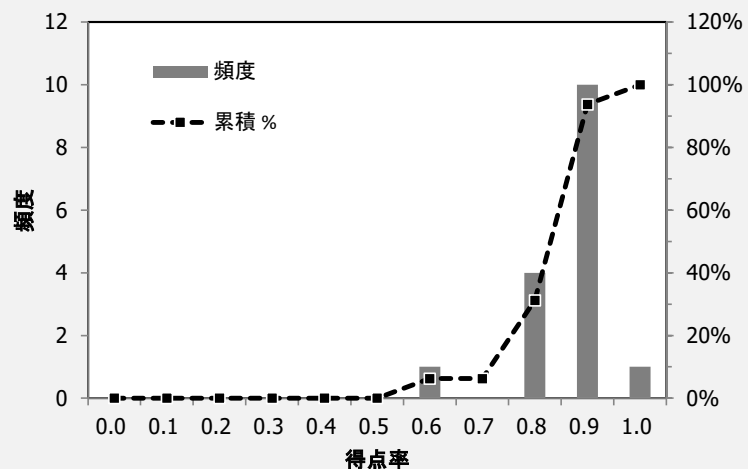
総合評価得点率（法学部）



総合評価得点率（経営学部）

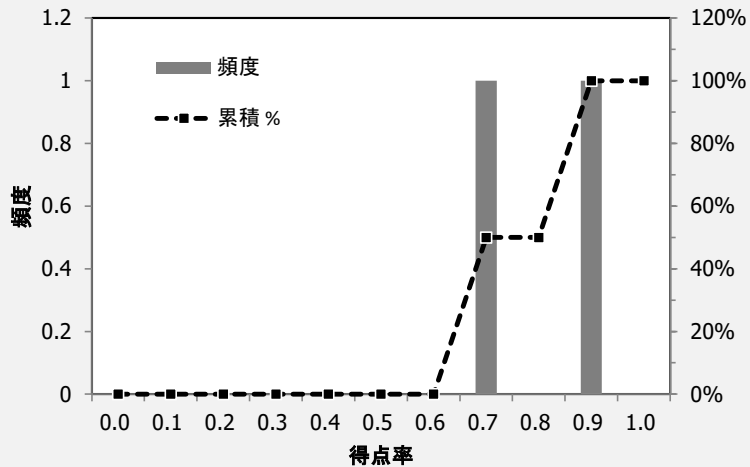


総合評価得点率（経済学部）

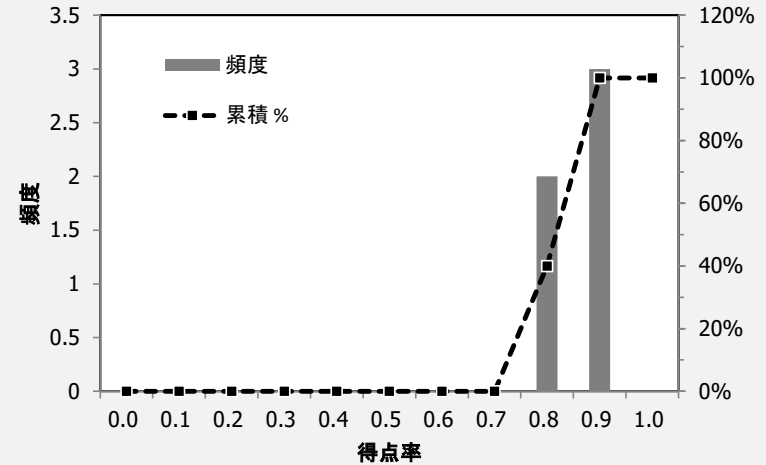


# 合格率（文系学部）

総合評価得点率（人間学部）

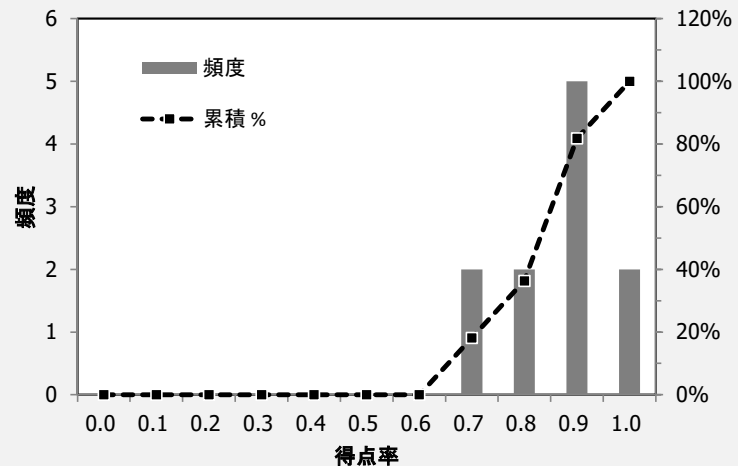


総合評価得点率（外国語学部）

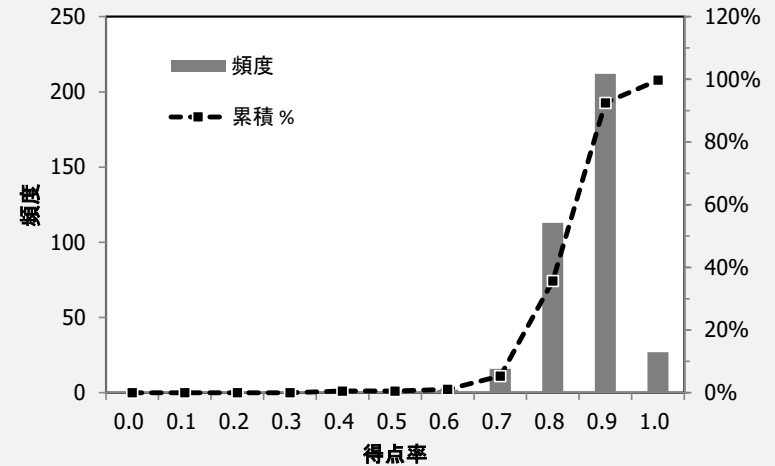


# 合格率（理系学部）

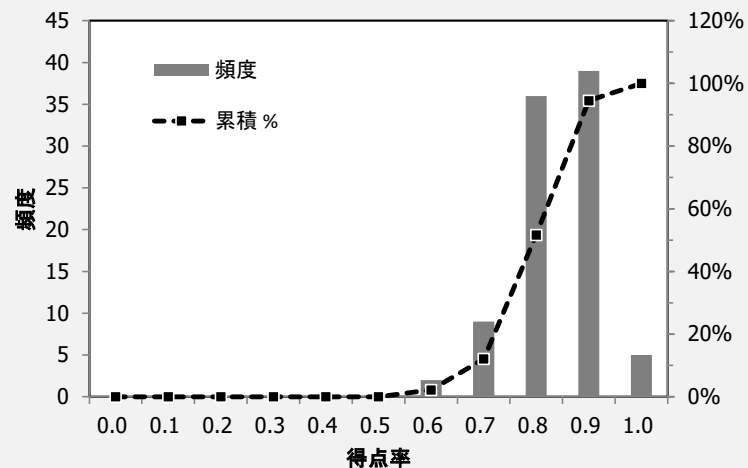
総合評価得点率（薬学部）



総合評価得点率（理工学部）

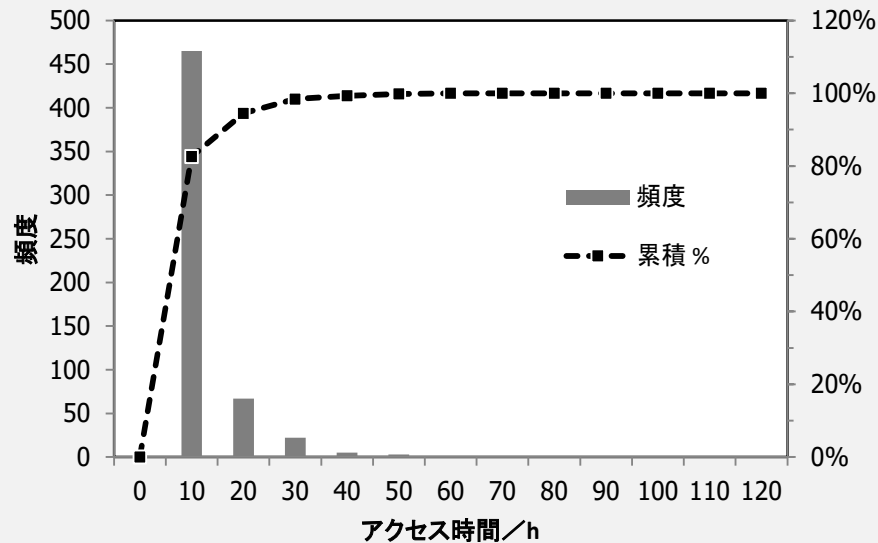


総合評価得点率（農学部）



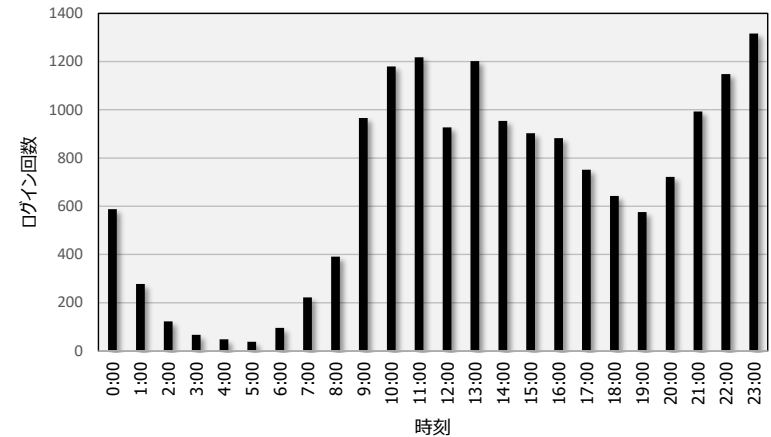
# 学習状況（学習時間）

## 学習時間（合計）

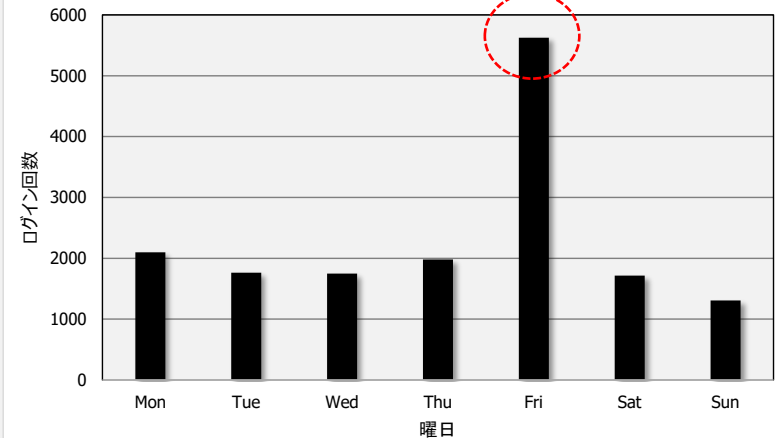


- ◆ 15 回の学習時間合計は、平均で約 6 時間。
- ◆ つまり、各回の平均学習時間は、**30 分未満**。
- ◆ 金曜日：21～23 時のアクセスに集中しており、多くの学生が開講日の土曜日ではなく、締め切り間際の金曜日深夜に学習している。

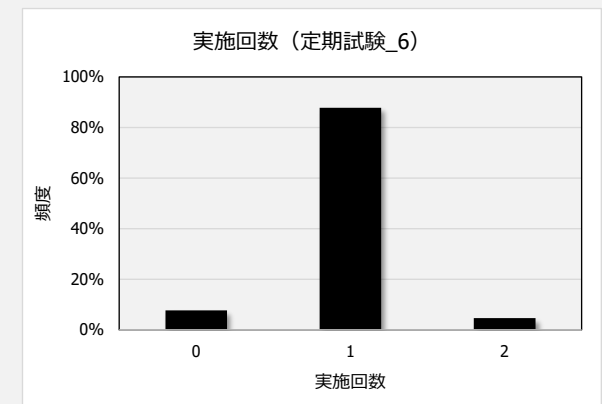
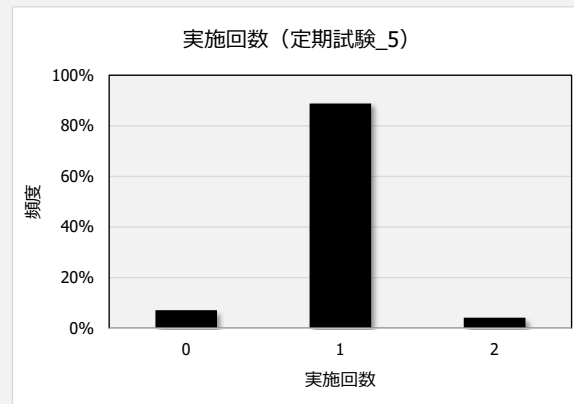
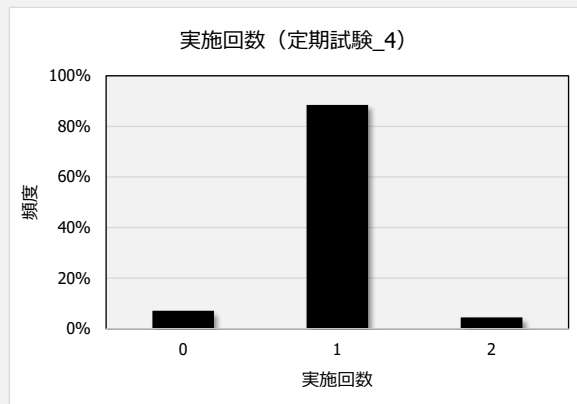
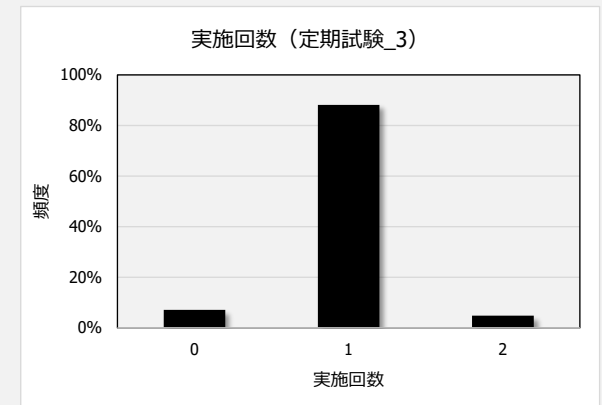
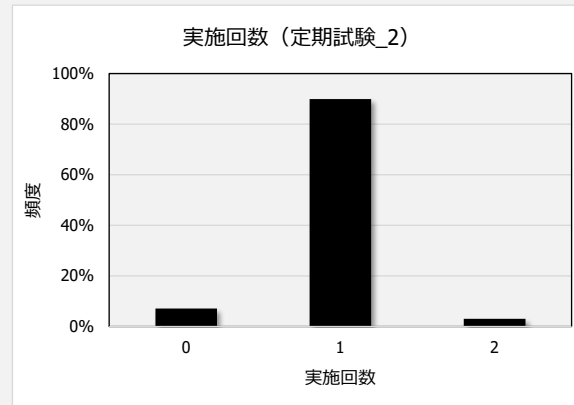
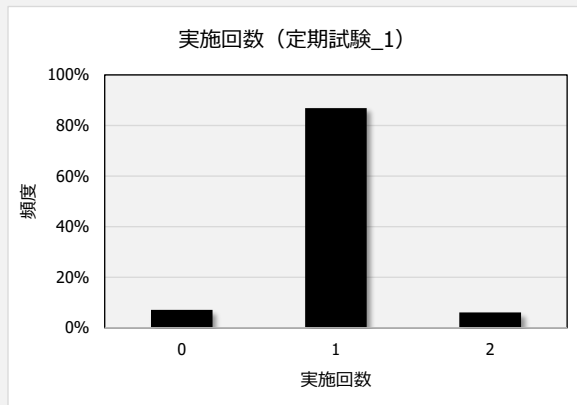
## 時間帯別ログイン数



## ログイン回数



# 学習状況（定期試験の実施回数）



定期試験実施要項にて、原則、解答チャンスは1回である旨、念押ししたため、2回の実施は少なかった。

# 授業改善アンケート（回答率）

**回答率：62.0 %**

（15回目の講義にて、出席確認と併せて実施）

Q1 この授業を履修しようと思った理由は何ですか（複数回答可）＊

- ☐ データサイエンス・AIについて学んでみたかったから
- ☐ オンデマンド講義だったから
- ☐ 他学部の教員の授業を受けてみたかったから
- ☐ 科目で身につく学修成果が将来必要になる知識や技能であると思ったから
- ☐ その他: \_\_\_\_\_

Q2 この授業は、よく理解できましたか？＊

- ☐ よく理解できた
- ☐ 理解できた
- ☐ あまり理解できなかった
- ☐ 理解できなかった

Q3 講義ビデオ／講義資料に対して満足しましたか？＊

- ☐ 満足
- ☐ やや満足
- ☐ やや不満
- ☐ 不満

Q4 毎回の小テストの難易度はいかがでしたか？＊

- ☐ 難しすぎる
- ☐ 難しい
- ☐ 容易
- ☐ 容易すぎる

Q5 あなたは、この授業のために1週間あたり授業外でどのくらい勉強をしましたか（WebClassでの課題、授業に関わる読書（テキスト・参考文献以外も含む）、友人との議論なども含まれます）。

- ☐ 週3時間以上
- ☐ 週1時間以上・3時間未満
- ☐ 週30分以上・1時間未満
- ☐ 週30分未満
- ☐ していない

Q6 あなたは、この授業を受講して、シラバスに示されている「到達目標1：＊ データサイエンスやAIが注目されるようになった社会背景と、様々な分野での活用事例を理解し、説明できるようになる」を達成できましたか？

- ☐ 達成できた
- ☐ やや達成できた
- ☐ あまり達成できなかった
- ☐ 達成できなかった

Q7 あなたは、この授業を受講して、シラバスに示されている「到達目標2：＊ データサイエンスの基本的な分析手法を身に着け、データ解析の結果を分析目的に即して解釈できるようになる」を達成できましたか？

- ☐ 達成できた
- ☐ やや達成できた
- ☐ あまり達成できなかった
- ☐ 達成できなかった

Q8 この授業の進め方・内容や、あなた自身のこの授業への取り組みや成果を振り返った時、この授業について、全体として満足しましたか？

- ☐ 満足した
- ☐ やや満足した
- ☐ あまり満足しなかった
- ☐ 満足しなかった

Q9 あなたはこの授業の履修を他の学生にも奨めますか？＊

- ☐ 強く奨める
- ☐ 奨める
- ☐ あまり奨めない
- ☐ 奨めない

Q10 この授業の内容に関しての要望事項があれば具体的に教えてください（自由記述）

長文回答

Q11 講義ビデオ／資料に関しての要望事項があれば具体的に教えてください（自由記述）

長文回答

Q12 小テストに関しての要望事項があれば具体的に教えてください（自由記述）

長文回答

Q13 本講義の受講を振り返って、自己の反省点があれば具体的に教えてください（自由記述）

長文回答

Q14 本講義の受講を振り返って、もっと学びたかったと思う授業内容があれば具体的に教えてください（自由記述）

長文回答



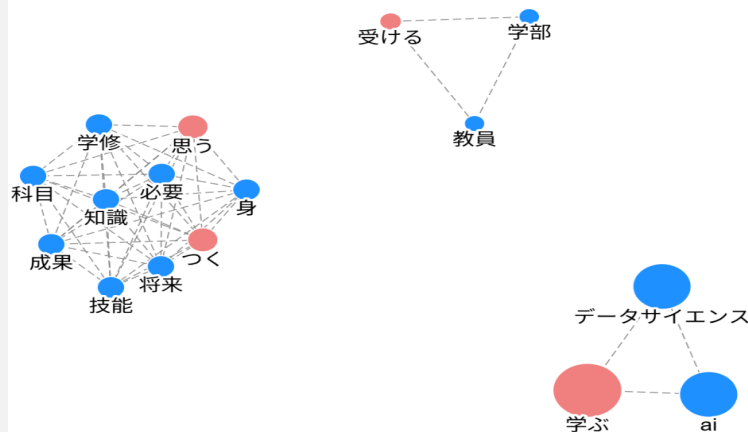
# 授業改善アンケート（Q1）

## Q1：この授業を履修しようと思った理由は何ですか？

**ワードクラウド：**スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで図示しています。単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。

データサイエンス  
学ぶ  
オンデマンド

**共起キーワード：**文章中に出現する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図です。出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度は強い方から順に 太い実線 > 細い実線 > 破線 で描画されます。

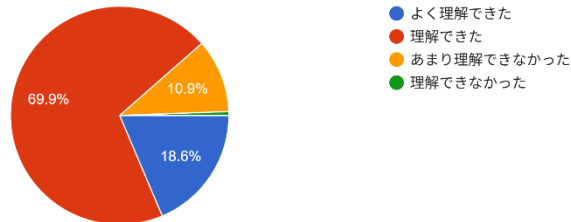


- 1. 学びたい意欲  
「データサイエンス・AIについて学んでみたかったから」という理由が多く、受講者の強い学習意欲が表れている。
- 2. オンデマンド講義の利点  
「オンデマンド講義だったから」という理由が多く見られ、受講者が自分のペースで学べることを重視していることが伺える。
- 3. 他学部の教員の講義  
「他学部の教員の講義を受けてみたかったから」という理由も多く、異なる視点や専門知識を学ぶことへの関心が伺える。
- 4. 将来の必要性  
「科目で身につく学修成果が将来必要になる知識や技能であると思ったから」という意見があり、受講者がこの学びを将来のキャリアに役立てたいと考えていることが伺える。

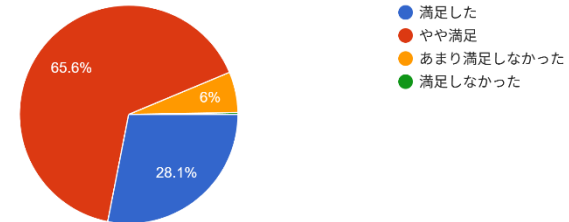
受講者はデータサイエンスとAIに対する学びの意欲、オンデマンド形式の利点、他学部の教員からの学び、将来の必要性を重視していることが明確に伺える。

# 授業改善アンケート（Q2～Q4）

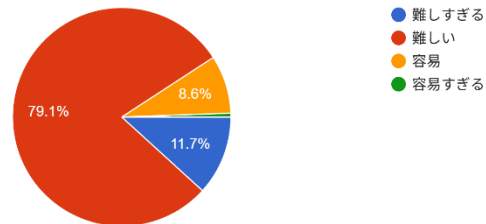
Q2 この講義は、よく理解できましたか？  
349 件の回答



Q3 講義ビデオ／講義資料に対して満足しましたか？  
349 件の回答



Q4 毎回の小テストの難易度はいかがでしたか？  
349 件の回答



**Q2：授業の理解度「理解できた」は、88.5 %**  
(応用基礎 I より、+10.3 ポイント)

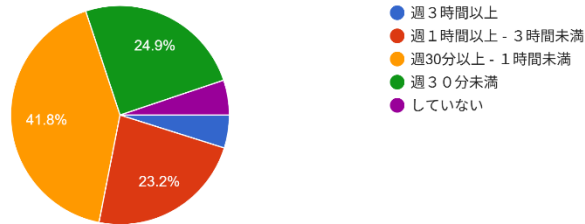
**Q3：講義資料の満足度は、93.7 %**  
(応用基礎 I より、+2.9 ポイント)

**Q4：90.8 % 学生が難しいという感想**  
(応用基礎 I より、-3.4 %)

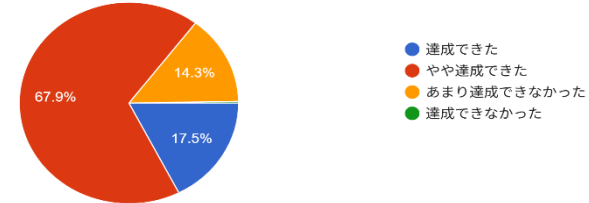
- 「理解度」「資料の満足度」は、「応用基礎 I」よりも UP.
- 91 %が「難しい」との感想であり、「応用基礎 I」よりも 3.4 %低い.

# 授業改善アンケート（Q5～Q7）

Q5 あなたは、この授業のために1週間あたり授...以外も含む）、友人との議論なども含まれます）。  
349 件の回答

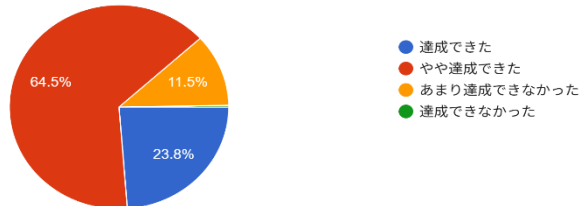


Q6 あなたは、この授業を受講して、シラバスに示されている「到達目標1：データサイエンスの基本的な分析手法を身につけ、...で解釈できるようになる」を達成できましたか？  
349 件の回答



到達目標1：データサイエンスやAIが注目されるようになった社会背景と、様々な分野での活用事例を理解し、説明できるようになる。

Q7 あなたは、この授業を受講して、シラバスに示されている「到達目標2：データサイエンスやAIに関する倫理的・法的な心得を理解する」を達成できましたか？  
349 件の回答



到達目標1：データサイエンスの基本的な分析手法を身につけ、データ解析の結果を分析目的に即して解釈できるようになる。

**Q5：授業外での学習時間は、約6割が1時間程度、約4割の学生は殆ど行っていない。**

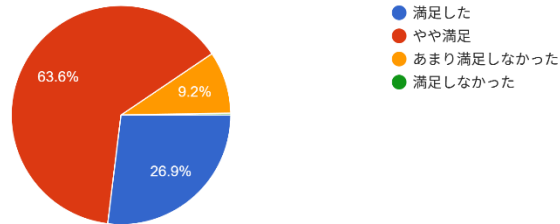
**Q6：到達目標1の達成度は、84.5 %  
（応用基礎 I より、+10.1 ポイント）**

**Q7：到達目標2の達成度は、88.3 %  
（応用基礎 I より、+11.4 ポイント）**

- 自習課題には、ほとんどの学生が取り組んでいない
- 到達目標の達成度は共に、応用基礎 I よりも高い。（数学がない分、容易になっている？）

# 授業改善アンケート（Q8～Q9）

Q8 この授業の進め方・内容や、あなた自身のこ...この授業について、全体として満足しましたか？  
349 件の回答

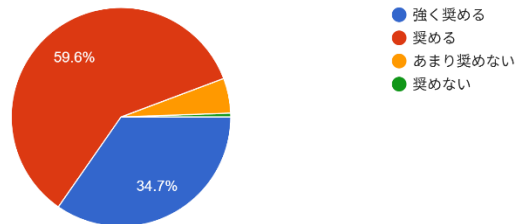


**Q8 : 授業満足度は, 90.5 %**  
(応用基礎 I より, +3.3 ポイント)

**Q9 : 本科目の重要性の認知は, 94.3 %**  
(応用基礎 I より, +3.7 ポイント)

授業満足度, 科目の重要性認知ともに, データサイエンス・AI 応用基礎 I を上回った.

Q9 あなたはこの授業の履修を他の学生にも奨めますか？  
349 件の回答

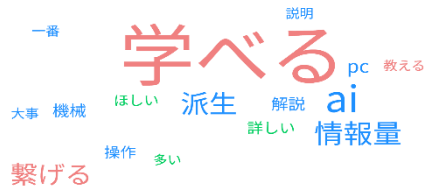


- 授業満足度, 科目の重要性認知ともに, 「データサイエンス・AI 応用基礎 I」を上回った.
- 社会におけるデータサイエンス・AI スキルの重要性が, 学生の間でも浸透してきている.

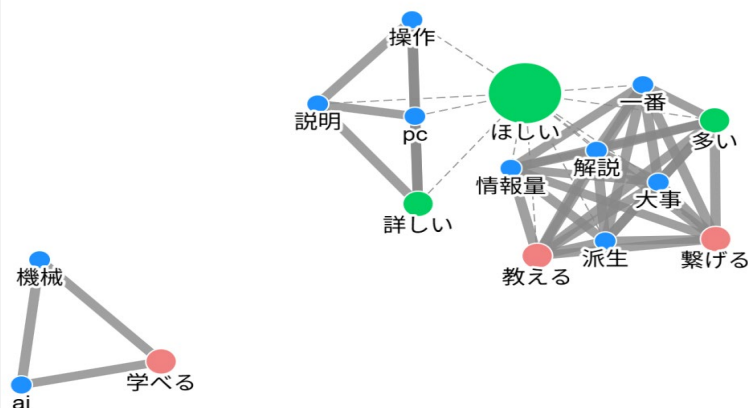
# 授業改善アンケート（Q10）

## Q10：この授業の内容についての要望事項あれば具体的に教えてください

**ワードクラウド：**スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで図示しています。単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。



**共起キーワード：**文章中に出現する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図です。出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度は強い方から順に 太い実線 > 細い実線 > 破線 で描画されます。



- 1. 重要事項の整理  
「情報量が多いので、一番大事なところ何かを教えて、それに派生する形で、繋げて解説してほしい」など、重要な情報を求める要望がある。
- 2. 学びの成果  
「AIなどの機械について学べた」

**今回は、全体として、特に要望がない傾向となった**



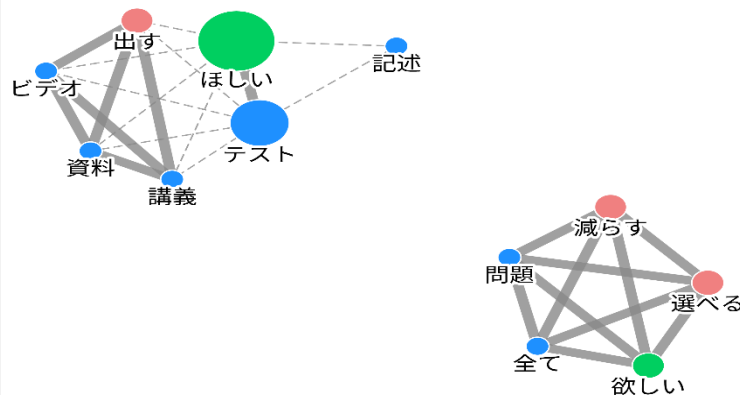
# 授業改善アンケート（Q12）

## Q12：小テストに関する要望事項があれば具体的に教えてください

**ワードクラウド**：スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさで図示しています。単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。



**共起キーワード**：文章中出现する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図です。出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度は強い方から順に 太い実線 > 細い実線 > 破線 で描画されます。



- 1. 選択肢の問題削減  
「全て選べ」の問題を減らしてほしい → 講義資料を理解しているかを確認するためには、一定数、必要と考える。
- 2. 出題形式  
少数ではあるが、記述式を希望している。  
今回は、全体として、特に要望がない傾向となった

Q13：本講義の受講を振り返って、自己の反省点があれば具体的に教えてください

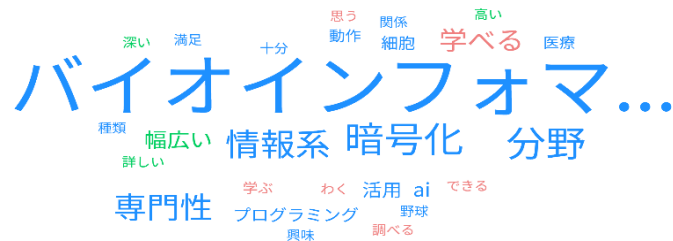
できる  
つける 計算 余裕  
見る 向ける 勉強 薄い 分野 忘れる  
自己 しまう オンデマンド 痛感  
行う 講義 期限 予習 感じる  
終わる 入門 遠隔 復習 応用 集中力 受ける  
怠る テスト 単位 取り組む ai 足りる よい  
多い 丁寧 慌てる 提出 増やせる しやすい 難しい  
思う ぎりぎり ii 理解 採点 持続 回答 思い出す  
持つ 繋がり 分かる 動画 視聴 良い 金曜日

- 全体として、学習の進め方や復習の重要性、時間管理の必要性についての反省と改善策が述べられている。

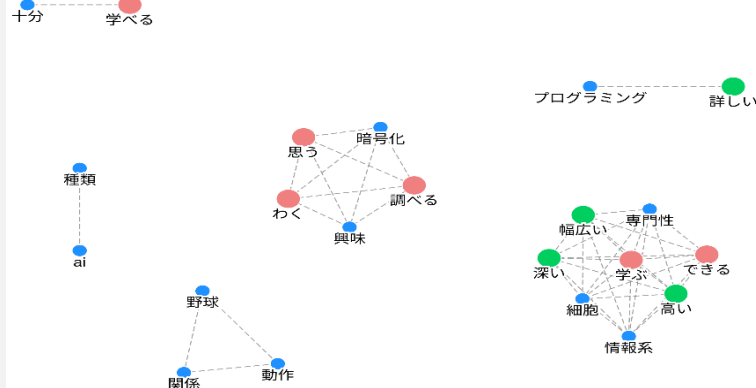
# 授業改善アンケート（Q14）

Q14：本講義を振り返って、もっと学びたかったと思う授業内容があれば具体的に教えてください

**ワードクラウド**：スコアが高い単語を複数選び出し、その値に応じた大きさと色で図示しています。単語の色は品詞の種類で異なり、青色が名詞、赤色が動詞、緑色が形容詞、灰色が感動詞を表しています。



**共起キーワード**：文章中出现する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図です。出現数が多い語ほど大きく、また共起の程度は強い方から順に 太い実線 > 細い実線 > 破線 で描画されます。



- 1. 学びの成果  
「十分学べました」との記述が多く、学習内容に対する満足度の高さがうかがえる。
- 2. 専門性の希望  
「細胞についてなど専門性が高い分野ではなく、情報系で幅広い分野で活用できる分野について深く学びたい」とあり、より広範な情報技術の学習を希望している。
- 3. 興味の拡大  
「暗号化については興味がわいたので自分でもより調べてみようと思った」との記述があり、特定のテーマに対する興味が高まったことが伺える。
- 4. 医療関連の言及  
「医療に関する分野」のフレーズが多く、医療と関連する学問に対する関心があることが示唆されている。
- 5. 全体的な満足感  
「満足です」との表現が多数あり、全体的な学びの経験に対するポジティブな評価が示されている。

# 来年度に向けての改善目標

---

- 教材の改善

- 動画／資料の見やすさ，聴きやすさについて，再チェック．
- 特に，聞き取り易さに関する要望が強い．

- 小テスト模範解答

- 要望事項は殆ど無し．成績と学習時間から，難易度を上げてても良いかも．

- 補助教材の強化

- 講義で必要となる基礎知識に関するチュートリアル，参考書の紹介．

- 定期試験

- 小テストと同様に，成績と学習時間から，難易度を上げてても良いかも．

- 今後の運営・実施体制

課題：取り纏め専任担当の採用，ノルマ等，科目運営に関する体制整備が急務．